



### 特長

- 非接触温度計測
- 路面の放射率が原因で発生する誤差を補正する独自機能付きで、放射率調整が不要
- 簡単な設置方法・メンテナンス
- 低いメンテナンスコスト
- 機械的可動部分なし
- 交通量に左右されない正確で安定した計測
- 高耐久性・全天候型
- 気温と湿度を計測
- ヴァイサラ道路気象ステーション RWS200 と容易に組み合わせて使用可能
- スタンドアロン型装置として動作可能

DST111 センサは、非接触式で路面温度を計測することが可能です。DST111 は、路面から放射される赤外線放射量を計測し、信号処理を行い路面温度を正確に計測します。



DST111 は、市販されている多くの赤外線式センサでは誤差が見られる環境条件下でも、信頼できる計測値を得ることができます。晴れた夜間に放射冷却により路面温度が下がると、一般的な赤外線センサでは路面の放射率の影響を受けて最大-3°C までの誤差が生じますが、DST111 は独自の設計によりこの誤差を補正して正確なデータを表示します。

DST111 の設置方法は簡単で、路面の溝切りや道路を封鎖する必要がありません。スタンドアロン型の理想的なセンサです。本センサは、柱や道路脇にある既存の建造物にそのまま設置できる設計です。DST111 は、既存のヴァイサラ道路

気象ステーション RWS200 や旧型の ROSA 道路気象監視ステーションに取り付けて組み合わせで使用することも可能です。

DSC111 路面センサと組み合わせ、用途の広いスタンドアロン型の気象ステーションを構成します。

# 技術情報

## 計測性能

計測距離	2~15m
水平線からの設置角度	30~85° (35~65° 推奨)
計測範囲	10m で直径 150cm
<b>路面温度</b>	
計測範囲	-40~+60°C
分解能	0.1°C
時定数	1分
データ更新時間	30秒

## 動作環境

動作温度範囲	-40~+60°C
動作湿度範囲	0~100%RH
EMC 規格 (産業環境)	EN/IEC 61326-1
振動	IEC 60068-2-6、レベル 2G

## 入出力

入力電圧	9~30VDC
平均消費電力	24V において 0.05W
通信インタフェース	絶縁型 RS-485
ケーブル	シールド 5 線式ケーブル ケーブル Ø6mm ケーブル : 3m、10m、25m / 片 側はコネクタなし / DSC111 へ の 0.6m 延長ケーブル

### コネクタ

DST111	M12 (5ピン、オス) : RS-485 および電源 ケーブルコネクタ外径 Ø15mm
--------	---

## 一般仕様

寸法 (高さ×幅×奥行)	125 × 100 × 320mm
質量	1.9kg
取り付け	断面 40×40mm のセンササ ポートアームへの取り付け



DST111 路面温度センサと DSC111 路面センサ

